

情報公開用文書

当院に通院中の患者様またはご家族の方へ

当院では以下の臨床研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

臨床情報、アンケート調査を用いた観察研究

課題名

『 間歇スキャン式持続血糖測定 (isCGM) を活用したセルフケア支援に関する研究 』

当院内科に通院中の多くの糖尿病患者さまが対象となるため、ウェブサイト上でお知らせしています。

この研究は、糖尿病の経過観察のために行われた検査結果などの臨床情報やアンケート調査を用いて行いますので、新たに患者様への負担は生じません。また、費用の負担も生じません。

糖尿病で当院通院中の方は、この説明文書を読まれた上で、参加の中止を申し出ることができます。もし参加を中止しても、これからの治療に差し支えることはありません。

この研究に参加されるかどうかを決めていただくためには、あなたに研究の内容についてできるだけ多く知っていただくことが必要です。説明の中で分かりにくい言葉や疑問、質問がありましたらどんなことでも遠慮なくお尋ねください。

芳珠記念病院 第1版
作成日 2024年1月4日

研究の背景・目的

近年、糖尿病の血糖管理のデジタル化が急速に進んでいます。従来の指先穿刺による血糖自己測定(SMBG)のほかに、より簡便にグルコース値をモニタリングできる間歇スキャン式持続血糖測定(isCGM)の保険適用が拡大されたことで、当院でも利用者が急増しています。一方で、isCGMのデータから得られる情報量は膨大であり、それらを十分に活用できていない現状があります。多職種医療チームが isCGM を活用できるようになることで、適切な治療介入およびセルフケア支援が可能となり、患者さまの治療満足度の向上および QOL 改善につながることを期待されます。

本研究では、isCGM(FreeStyle リブレ)を含む血糖自己測定を活用したセルフケア支援が、治療満足度に与える影響を明らかにすることを主たる目的とします。

研究の方法・対象

2024年1月から10月のあいだに当院内科を受診された糖尿病患者さまのうち、血糖自己測定を実施されている方を対象とします。ご協力いただける方には、「血糖自己測定に関するアンケート」(記名式)を記入して頂きます。糖尿病の経過観察のために行われた血液・尿検査等の検査結果や合併症のデータを利用させて頂きます。具体的には、患者さまを匿名化(患者さまのお名前や住所など特定できる個人情報を削除すること)した後、必要なデータをまとめ、解析を行います。また、本研究で使用したデータは、本研究終了後に破棄致します、集計されたデータは、学会発表や学術雑誌及びデータベース上で公に発表される事があります。

研究期間

芳珠記念病院倫理審査委員会の承認日から2024年12月31日までです。

研究への参加・不参加および同意撤回の自由

この研究に参加されるかどうかはご本人の自由であり、参加・不参加によって今後の診療に不利益が生じることはありません。また、いつでも参加を辞退することができます。上記の研究対象に該当する患者様で、参加辞退のご希望、または一旦参加に同意された後でも撤回のご希望がありましたら、お手数ですが2024年12月31日までに下記の相談窓口までご連絡をお願い致します。

問い合わせ、苦情等の連絡先

あなたが、病気のことや今回の観察研究に関して、疑問に思うことや困ったことが生じる場合は、下記にご連絡下さい。

芳珠記念病院 内科
研究責任医師 : 若山 綾子
相談窓口 : 芳珠記念病院
電話番号 : 0761-51-5551 (代)